

左： 青蓮寺
右： 手広・笛田

- A 常緑広葉樹自然林
- E 常緑・落葉広葉樹混生二次林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木・ツル植物
- J1 乾性草地
- L2 針葉樹植林
- L4 緑化地
- M 人工地



タヌキのため糞



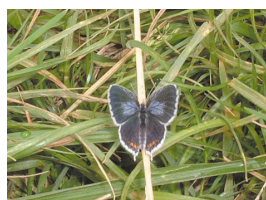
オナガ



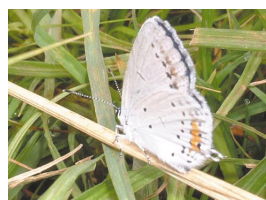
カナブン



アキアカネ

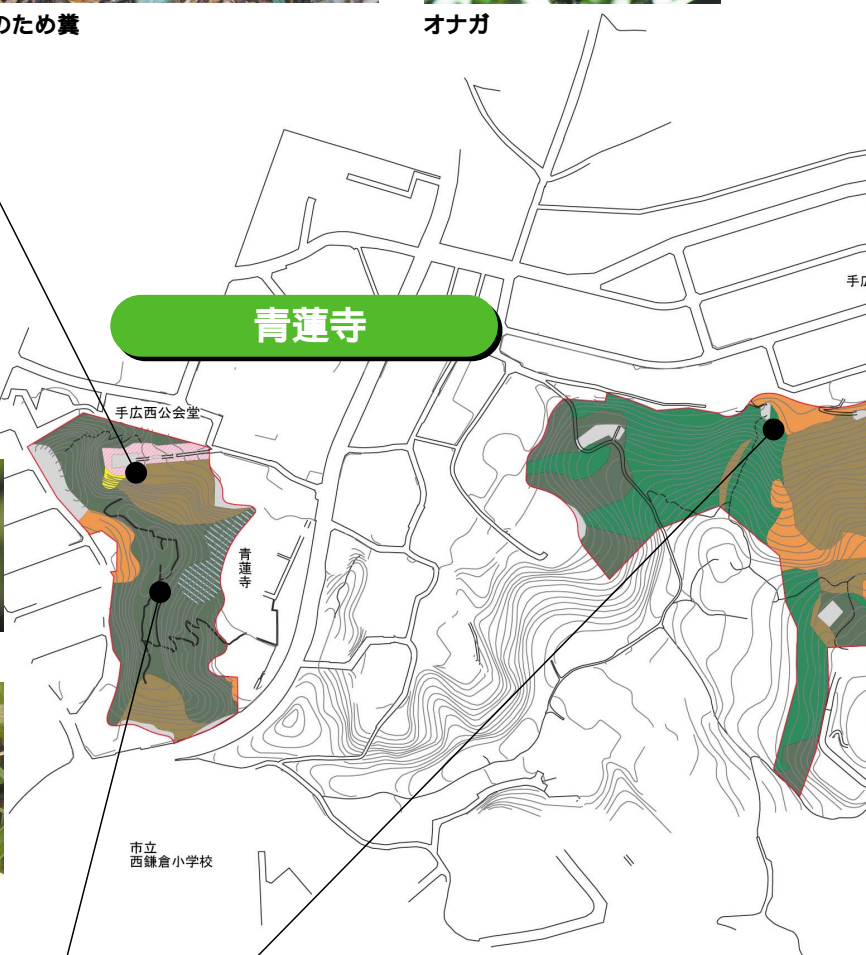


ツバメシジミ
(左は羽を広げたとき、右は羽を閉じたときです)



ヤブコウジ・スダジイ群集
一度伐採された後に育ってきたスダジイ林で、常緑・夏緑などさまざまな植物が45種も生育しています。

青蓮寺

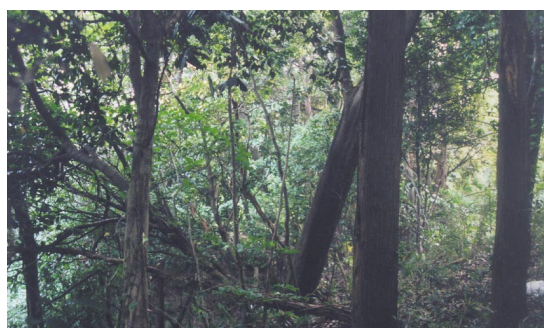


ミズキ群落
谷の急斜面に生育した、ミズキ、ムクノキなどの林で、木の高さは20m以上です。
林床にはアオキ、アズマネザサが茂り、その他に40種以上の植物が生育しています。



ヨツスジトラカミキリ

手広・笛田



ヤブコウジ-スダジイ群集

カシ類とスダジイが混ざって生えている常緑広葉樹林です。林床はやや開けていて、多くの種類の夏緑植物が生育し、人手が入っていたことが分かります。

青蓮寺

調査確認種数

植物：64科129種

動物

哺乳類：モグラ、アカネズミ、タヌキ他 4科4種

鳥類：15科18種

爬虫類：トカゲ1科1種

昆虫類：59科110種

特記事項

青蓮寺は、常緑広葉樹の自然林が生育する社寺林でいわゆる鎮守の森です。面積は小さいもののタヌキのため糞が確認されるなど、比較的多様な動物が観察されました。

青蓮寺は、手広・笛田から連なる緑地と道路を隔てて隣接しており、さらに住宅地や学校が間にあるものの、手広と比較的に位置します。これらの緑地間を行き来できるので、タヌキのような中型哺乳類の生息が可能になっていると考えられます。

手広・笛田

調査確認種数

植物：66科141種

動物

哺乳類：モグラ、アカネズミ他 3科3種

鳥類：チョウゲンボウ他 19科28種

爬虫類：トカゲ 1科1種

両生類：アマガエル 1科1種

昆虫類：75科180種

特記事項

手広・笛田の南西には畑地が広がり、東側には住宅を挟んで、水田が広がっています。緑地全体としては、道路による分断はあるものの、鎌倉山へと連なり、帯状にかなりの広がりをもっています。

この緑地の広がり、周辺にある耕作地との連続性を考慮に入れて保全していけば、生物相がより豊かになるものと考えられます。



チョウゲンボウ

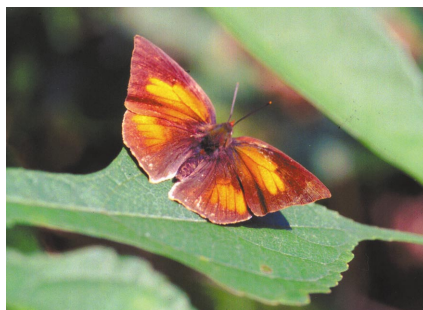


タイワンリス(外来種)

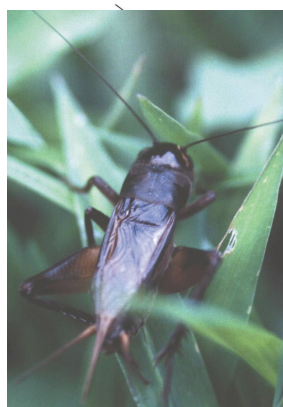
今回の調査で小動岬をのぞく21地区で確認され広く生息していることが明らかとなりました。

常盤山

- C 渓谷生落葉樹自然林
- E 常緑・落葉広葉樹混生二次林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木・ツル植物
- J1 乾性草地
- J2 畑耕作地
- L1 竹林
- L2 針葉樹植林
- L4 緑化地
- M 人工地



ウラギンシジミ(左は羽を広げたとき、右は閉じたときです)



エンマコオロギ



センチコガネ



オニシバリ・コナラ群集

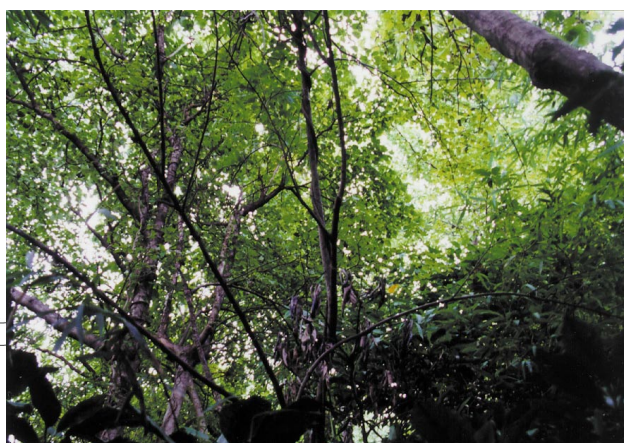
林床にはアズマネザサが密生し、構成種の少ないコナラ林です。木の高さは20mにもなる林で、ジャノヒゲやテイカカズラなどがアズマネザサの下に生育しています。



タイワンリスにかじられたエゴノキの実です。



ギムグリ

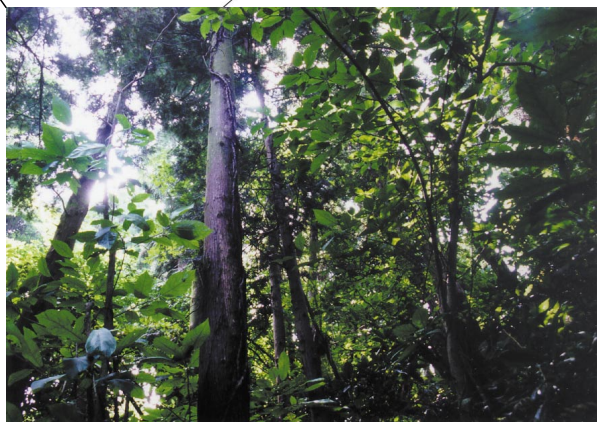
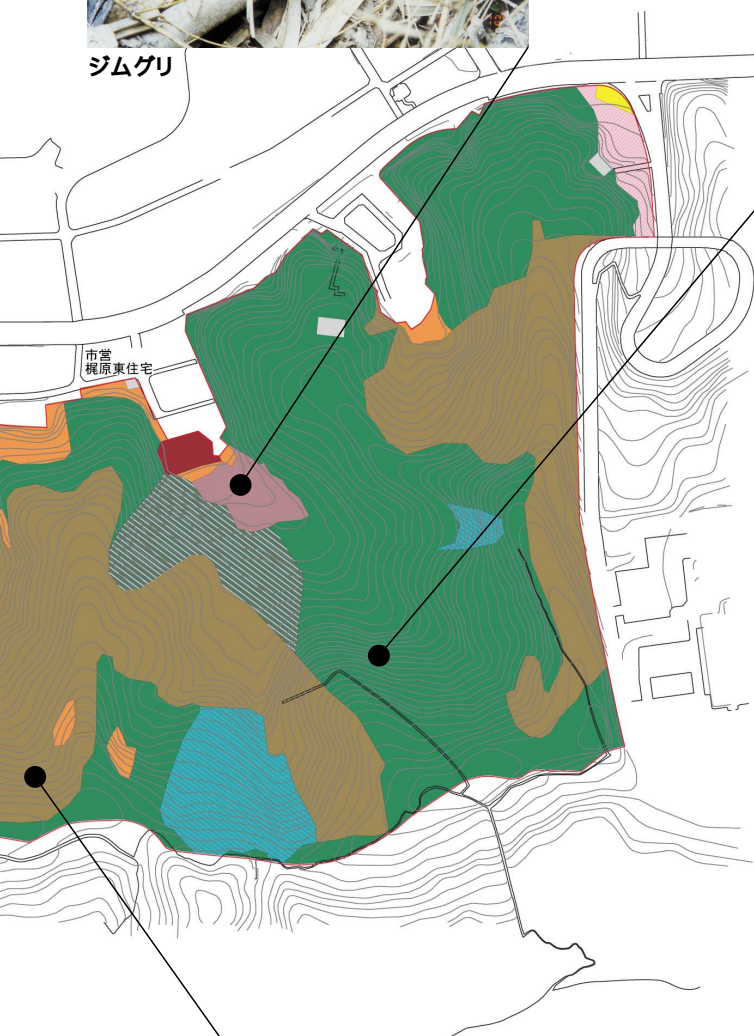


ミズキ群落

二次林で林の高さは18m位です。
林床にはアズマネザサやアオキが多く見られます。



キマワリ



スギ植林

林の高さは25m位です。
林床にはシダ植物など30種以上の植物が生育しています。

常盤山

調査確認種数

植物：80科206種

動物

哺乳類：モグラ、アカネズミ他 3科3種

鳥類：15科22種

爬虫類：トカゲ、カナヘビ、ギムグリ 3科3種

昆虫類：68科185種

特記事項

常盤山の植物は、関東地方を北限とするカラ
タチバナやカゴノキ等が確認され、温暖な気候
下の植物相の特徴を表している一方で、関東地
方を南限とするツクバトリカブトも多く確認さ
れました。

サルナシが確認されましたが、地元市民によ
ると、市域西部にはたいへん少ないとのこと
です。また、昔、フクロウの巣があったという市民情報
も得られました。